

FOODEX JAPAN 2027 米パビリオン（展示会） 「高知県ブース」への参加事業者の募集について

1. 概要

日本産米にかかる国内の需給バランスが不安定な中、持続可能な農業と地域経済の活性化に貢献すべく、輸出が国の成長戦略の柱として注目されています。

高知県としても県産米を海外へPRし、輸出販路を拡大していく取組の一環として、以下の展示会に出展します。つきましては、参加いただける県内事業者の募集を行います。

2. 展示会の概要

FOODEX JAPAN 2027 米パビリオン

【会期】令和9年3月9日（火）～12日（金）10:00～17:00 ※最終日は16:30まで

【会場】東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-11-1）

【主催】一般社団法人日本能率協会

3. 高知県ブースの概要

ミニブース1コマ（1.5m×1.5m）※参加事業者数は最大2社

- ・詳細は別添1をご覧ください。
- ・同展示会サイト（<https://foodex.jma.or.jp/exhibit/pickup-rice.html>）でも展示会の概要は確認できますが、ミニブースは都道府県への個別案内であるため、同サイトでは確認できません。ご注意ください。

4. 高知県ブースへの参加募集

（1）募集期間

令和8年10月13日（火）から10月20日（火）17:00まで

（2）募集事業者数 2社以内

申込多数の場合は、高知県農産物マーケティング戦略課で別添2「出展者選考評価基準」に基づいて審査を行い、出展者を選定させていただきます。

（3）応募条件

- ・高知県産米を取り扱う事業者であり、海外への輸出に取り組んでいるもしくは検討している事業者であること。
- ・出展対象商品は、高知県産米（精米・玄米）又はパックご飯とする。日本酒や米菓などコメ関連食品は今回対象としないので、ご了承ください。
- ・定められた期日までに出席申込書を提出し、出席決定後も出品物に関する必要書類等を求めた際に期日内に提出可能であること
- ・参加後、商談件数や成約件数等の実績を県に報告できること。

(4) その他

- ・出展費用は無料です。
- ・展示会会期期間中、ブース内に参加事業者スタッフを1名以上常駐していただくことが望ましいですが、難しい場合は県担当者で対応することも可能ですので、ご相談ください（詳細は、参加申込書に記入欄がございます）。

5. 申込方法

下記の提出物を作成の上、期日までにメールでご提出をお願いします。

【必要な提出物】

- ・参加申込書（別紙1）
- ・商品規格書（様式自由）

【提出先】

高知県農業振興部農産物マーケティング戦略課（担当：伊藤・中村）

TEL：088-821-4806／mail：160701@ken.pref.kochi.lg.jp

【提出時の件名】

「FOODEX JAPAN 2027 米パビリオン高知県ブース申込み」とすること

【提出期限】

令和8年10月20日（火）17時

【問合せ先】

〒780-0850 高知市丸ノ内1-7-52

高知県庁西庁舎3F

高知県農業振興部農産物マーケティング戦略課

担当 伊藤・中村

TEL：088-821-4806

mail：160701@ken.pref.kochi.lg.jp

【別添1】

令和8年9月14日付農林水産省農産局長事務連絡「日本産米及び米関連商品の輸出拡大に向けた取組への参加について（依頼）」抜粋

The 52nd International Food and Beverage Exhibition FOODEX JAPAN 2027 52 国際食品・飲料展

主催/一般社団法人日本能率協会 一般社団法人日本ホテル協会 一般社団法人日本旅館協会
一般社団法人国際観光日本レストラン協会 公益社団法人国際観光施設協会

アジア最大級 食の“総合”展示会

FOODEX JAPANは「アジアのゲートウェイ」として進化します。
日本の食品・飲料の海外輸出、国内流通、海外の食品輸入を支える
3つの機能が一体となった、アジア最大級の“食の総合”展示会です。



3つの支援

1. 日本の食品の海外輸出

出展者

- 海外バイヤー・輸出会社との商談機会
- 新規取引先の開拓
- 海外市場への販路拡大

2. 日本の食品の国内流通

商談

- 商品仕入/売上の商談機会
- 価格・納期の交渉
- 販売代理店とのマッチング

3. 海外の食品輸入

来場者

- 多様な海外食品・飲料の発見
- 比較検討ができる場
- 最新トレンドの情報収集

FOODEX JAPAN 2027 目標

海外バイヤー
30,000名

国内バイヤー
60,000名

出展者数
3,000+
社・団体

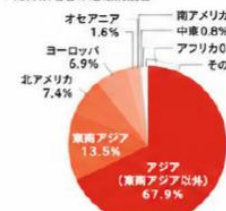
来場国・地域
80+
カ国・地域

FOODEX JAPAN 2026実績

合計来場登録者数
73,842名
(前年: 72,151名)

海外来場登録者数
14,430名
(前年: 14,423名)

海外来場者の地域別割合



	FOODEX JAPAN 2026	FOODEX JAPAN 2025
商社・卸	23,763名	18,507名 (5,256名増)
食品・飲料メーカー/生産者	16,235名	11,511名 (4,724名増)
外食・給食・中食	13,783名	11,597名 (2,186名増)
小売	10,977名	10,170名 (807名増)
ホテル・旅館・レジャー	2,980名	2,068名 (912名増)
官公庁・団体・専門家	1,006名	1,555名 (549名減)
機器・設備メーカー	1,753名	1,194名 (559名増)
物流・運輸	1,223名	1,056名 (167名増)
報道関係者	591名	511名 (80名増)
その他	643名	443名 (200名増)

出展のメリット

- 海外バイヤー・輸出会社との濃厚な商談機会**
世界中から来場するバイヤーと、直接商談できる絶好の機会です。
- 和食ブームを活かしたグローバル発信**
日本の「食」の魅力を世界へ発信し、ブランド価値を高めます。
- 「食の総合展」ならではの圧倒的な集客力**
業界の枠を超えた多様な来場者が、新たな出会いとビジネスを創出します。
- 課題解決ソリューションの提案が可能**
最新の製品・サービスを提案し、顧客の課題解決に貢献できます。

会期

2027.
3.9(火) - 12(金)
10:00-17:00 最終日は16:30まで

会場

東京ビッグサイト
東展示棟 1-8ホール
西展示棟 1-4ホール

FOODEX JAPAN 2027 米パビリオンの概要（主催者案）

FOODEX JAPAN 2027 米パビリオンの企画概要

全国の優良産地が集結「お米ゾーン」の創出

全国の銘柄米・米加工品が一堂に会する日本米特化型エリアを開設。国内外のバイヤー向け、各地域の先進的な取組や高品質な銘柄米及び加工品をダイレクトに訴求・商談します。

<米パビリオン>



出展ブース（最大 20 ブースを予定）

区分	通常ブース	ミニブース
サイズ	縦 3m × 横 3m	縦 1.5m × 横 1.5m
出展料金	55 万円（税込） ※別途装飾費用	22 万円（税込） ※別途装飾費用
出展対象	全国の産地・生産者・自治体・関係団体・米加工事業者 （※ミニブース出展者は、本事務連絡により申し込みされた方が対象）	

出展料金に
含まれるもの
（次ページに
イメージ図有）

社名板、カーペット、スポットライト、展示台、丸テーブル・イス
2 脚、2 口コンセント(1kw)

社名板、カーペット、会議テーブル、2 口コンセント(1kw)

今後のスケジュール

10 月末
出展締切

11 月
出展ブース料金支払期限

2027 年
3 月 9 日～12 日
FOODEX 開催

問合せ・お申込み先

一般社団法人日本能率協会 小島、山野辺、漆平
TEL：03-3434-3453 E-mail：foodex@jma.or.jp

01 | サンプル株式会社
SAMPLE CO., LTD.

社名板

スポットライト

展示台

カーペット

丸テーブル・イス2脚

2口コンセント (1kw)

日本の米を、世界へ
JAPANESE RICE TO THE WORLD

おいしさでつながる未来へ
GOOD FOOD BRINGS A BRIGHTER FUTURE

日本の恵みを食卓へ
RICH HARVESTS FOR A BRIGHTER TABLE

こだわりの日本米
PREMIUM JAPANESE RICE

The image shows a trade show booth for 'サンプル株式会社' (Sample Co., Ltd.). The booth is a rectangular structure with a white top banner and side panels. The top banner features the company name in Japanese and English, and the booth number 'A-12'. The side panels have vertical text and images of rice. The back panel has a large image of a rice field and the text '日本の米を、世界へ' (Japanese rice to the world). The booth is furnished with a white table displaying various rice products, including bags and bowls. A callout points to a 'ミニブース イメージ (1.5m×1.5m)' (Mini booth image (1.5m×1.5m)). Another callout points to the '社名板' (Company name board). A third callout points to a '2口コンセント (1kw)' (2-outlet outlet (1kw)). A fourth callout points to the 'カーペット' (Carpet). A floor plan diagram in the bottom right corner shows the booth layout with dimensions of 1.5m by 1.5m, and labels for '平面図 (イメージ)' (Floor plan (image)), '1.5m', '1.5m', and '会議テーブル (商品展示用)' (Conference table (for product display)).

ミニブース
イメージ
(1.5m×1.5m)

社名板

A-12 | サンプル株式会社
SAMPLE CO., LTD.

おいしさで
つながる
未来へ
GOOD FOOD BRIDGE
& FUTURE NATURE

日本の
恵みを
食卓へ
JPN WAYS TO
GREAT FUTURE

日本の米を、
世界へ
JAPANESE RICE TO THE WORLD

日本米
日本米
日本米
日本米

2口コンセント
(1kw)

カーペット

平面図 (イメージ)
1.5m
1.5m
会議テーブル
(商品展示用)

2026 年 9 月 10 日
一般社団法人日本能率協会

日本産米輸出拡大に向けたプロモーションについて

韓国展示会への出展

○2026 年 11 月開催韓国展示会「Food Week Korea」（11 月 4 日（水）～7 日（土）） における出展（最大 9 社無料）

【目的】日本米への親和性が高く、日本米加工食品の市場性が高い。韓国国内だけでなく、中国、東南アジア等から来場する海外バイヤーとの商談機会が期待できる。出展対象は米関連加工食品を想定。

※上記展示会に、出展料を小会負担にてご出展いただけます（米パビリオン出展者の方
に優先的にご案内します）。なお、出展枠に限りがございますため、お申込み先着順と
させていただきます。

FOODEX JAPAN 2027 で実施予定のイベント等

○各都道府県おにぎり食べ比べ（イベント・試食）の実施

【目的】国内においても、様々な米があることを認知してもらうとともに、その土地なら
ではおにぎりを提供することで、日本のお米文化の多様性を認識してもらうとと
もに、これまで海外に提供できていなかった新たな商品・価値の提供に繋げる。

○FOODEX JAPAN の機会を活用し、世界各国で活躍するミシュラン星獲得 シェフや著名シェフ等を招聘し、日本産米を使用した料理コンテストの開催

【目的】世界各国の一流シェフに日本産米を活用した新たな料理や提供方法を研究・創作
してもらうことで、日本産米の活用領域の拡大を促進するとともに、各国の食文化
に応じた多様な活用可能性を世界に発信。

○FOODEX JAPAN の機会を利用した海外のホテル、レストラン関係者におにぎり （冷凍おにぎり含む）、冷凍寿司（冷凍シャリ玉含む）、米粉製品（洋菓子、 米粉ラーメン等）を試食してもらうイベントの開催

【目的】日本産米のおにぎり、冷凍製品のおいしさや品質の高さを認知してもらうこと
により、海外における日本産米でのおにぎりの拡大や、人件費が高騰している中で、
すぐに利用できる冷凍寿司、シャリ玉の導入に向けた働きかけ。また、日本産の米
粉・米粉製品の品質や可能性・多様性、ノングルテン認証等を海外に向けて PR。

○FOODEX×GOHAN プロジェクト コラボ企画

海外バイヤーの興味・関心を引き出す体験型の日本産米・商品の提案・紹介
企画を予定

【別添2】

出展者選考評価基準

事業者名	
選考対象商品	

評価項目	審査の視点	採 点 内 容					係数	点 数
		大変優れている	優れている	普通	やや劣っている	劣っている		
参加目的 (50)	・参加目的が明確であり、今後の販路拡大に向けた意欲が感じられるか。	5	4	3	2	1	×10	
輸出への取組状況 (50)	・輸出の取組実績があるか。 ・輸出販路の拡大に向けた具体的な方針をもっているか（国、商品、ターゲット層等）	5	4	3	2	1	×10	
出展商品 (50)	・今後の輸出拡大に向け、魅力的な商品であるか。 ・他商品との差別化が期待できるか。	5	4	3	2	1	×10	

優れている点		合計 /150
劣っている点		

選考委員氏名	
--------	--